

## 平成29年度 第1回市民参加及び協働推進委員会会議録

○日 時 平成29年6月27日（火） 午後7時00分～午後8時25分

○場 所 市役所2階 市長公室

○出席者 委 員：有賀委員、桑原委員、長ヶ原委員、富田委員、中澤委員、  
松下委員、松本委員、三上委員、三木委員  
事務局：古寺協働推進課長、石川協働推進課副課長、  
赤田協働推進課主査

○欠席者 委 員：對馬委員

○傍聴者 なし

内 容
<p>1. 開 会 （石川副課長）</p> <p>2. 委員長あいさつ</p> <p>3. 議 題</p> <p>（1）平成28年度実施協働事業の評価について</p> <p>【事務局】実施事業2件「すわの森環境保全事業」、「コスモス育成活動事業」について、推進委員10名より提出された協働事業評価メモを庁内委員会へ6月23日提出。推進委員10名及び庁内委員10名より提出された協働事業評価メモを踏まえ、庁内委員の協議により資料1及び2「協働事業評価シート」を作成。協働事業の評価として市長へ報告し、市ホームページへ掲載させていただきたい。</p> <p>資料1「協働事業評価シート（平成28年度実施事業：すわの森環境保全事業）」について</p> <p>《推進委員質疑・意見》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ホテルを通じて、緑地保全の重要性について市民に認識していただけたと思う。今後も事業を継続してもらいたい。</li></ul> <p>資料2「協働事業評価シート（平成28年度実施事業：コスモス育成活動事業）」について</p> <p>《推進委員質疑・意見》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・実施事業「コスモス育成活動事業」において、除草作業時、ボランティアに対して</li></ul>

お茶の提供等ができなかったため、今後も事業継続するならば、市からの運用面の資金援助をしてほしい。

- ・飲み物は補助金の対象外だったのか。

【事務局】補助金の対象経費である。しかし、補助金は平成28年度で終了しているため、今後は事業継続する担当課での対応となる。

- ・決算額111,974円、市補助金78,408円とあるが、補助金を使い切っていないのではないか。

【事務局】対象外経費があることから、端数がある。

資料1及び2の全般について

《推進委員質疑・意見》

- ・意見の中で、2事業の継続を望む声があったと思うが、総合評価では継続してほしいとしか書かれていない。具体的に補助金を2年もしくは3年にしてほしいというような意見を補足できないのか。

【事務局】多数のご意見があったことから、総括してこのような表現にしている。

- ・高い評価を受けた事業については継続できるよう、協働事業提案制度の見直しは是非実施してもらいたい。

○委員より「平成28年度実施協働事業の評価について」、了承を得る。

(2) 協働事業提案制度平成29年度募集要領について

【事務局】資料3「富士見市協働事業提案制度平成29年度募集要領(案)」に基づき説明。行政提案型協働事業については、現在庁内で調整中のため、現段階での案の報告である。その他の内容は平成28年度から変更なし。募集期間は平成29年7月14日(金)～8月31日(木)である。

《推進委員質疑・意見》

- ・今年度の行政提案型協働事業は1件か。市民提案型協働事業はないのか。

【事務局】今のところ1件の予定である。市民提案型協働事業は募集期間内で提案してもらおう。

- ・行政提案型協働事業の予算の内訳はどのようになっているのか。

【事務局】協力者の大学生への謝礼が主なもので、14万円程度を想定されている。その他、お茶代や消耗品代、コピー代などが計上されている。

- ・この行政提案型協働事業も1年で終了ではなく、継続すべき事業ではないか。

**【事務局】** 実行されれば、その後は担当課で継続されていくものと考えている。

(3) 協働事業提案制度の見直し、改善について

**【議長】** 事業の採択・実施・評価と一巡したため、改善点について伺いたい。

《推進委員意見》

・昨年度実施した事業は、補助金の終了に伴い事業終了か。

**【事務局】** 今年度、担当課で継続している。

・地域文化振興課で観光マップを作ることになっており、すわ・氷川の森のホタルやコスモス街道についても、今後も観光スポットとして集客が見込まれるため、市全体として、継続した方がよいのではないか。

・協働推進課での補助金は1回が限度であるため、1回限りの窓口でしかないのか。

**【事務局】** 次年度以降も補助が必要であれば、担当課において補助金の継続をすることが可能である。

・他市のような制度であればいいのだが、所管課が違っても、市として事業を継続できるようにすればよい。

・募集要領に記載されている対象経費は一般的なことであるため、具体的にたとえば作業時のお茶代などは対象となるのか不明である。

・補助金が1年限りというのは、募集要領に書かれているのか。

**【事務局】** 募集要領の中の「協働事業の補助金の交付について」の中で明記している。

・今回実施した事業についてもトイレや休憩スペースなど様々な課題があり、活動に際しては市による資金面を含めた援助が必要なのではないか。

**【事務局】** コスモス育成活動事業では、引き続き地域文化振興課で支援を継続している。

・評価の結果が事業継続であったなら、より簡単な方法で継続できるようにしたらよいのではないか。

・推進委員の意見を踏まえ、庁内委員会で市の意思決定できるようにすべきである。

・事業の評価によっては、継続できるようにしてほしい。そうでなければプレゼンテーションや報告会まで行う必要性が見えない。それなら提案しないという団体もある。

**【事務局】** 評価を活かして、担当課で事業を継続できるような制度へ見直す必要があると考えている。

・この制度の当初の事業想定は、イベントなどであったのか。現状の7月から8月までの募集期間であると、既存の事業しか提案できない。新事業を提案するには期間が短く、また募集時期も変更した方がよい。

・事業によっては1年で終了するものもあるだろうが、継続できるような柔軟な制度に変更を希望する。

**【事務局】** 他市を例にあげれば、イベントなどの事業に関しては単年度補助で実施している。

課題としては、①内容により継続できる制度化、②募集期間の検討、③手続きの簡素化の3点でよいか。

・加えて、この制度のPR方法についても検討してもらいたい。市広報や市ホームページだけでは足りない。委員になって初めてこの制度を知った経緯もあるため、説明会などを開催するなど、協働事業提案制度について周知を図ってほしい。

**【事務局】** NPO法人の懇談会などでも、周知していきたい。

・今回の事業報告会で決算資料がなかったが、必要だと思う。補助金の使途を報告すべきである。

**【事務局】** 事業報告会の形式であったのもあり、決算資料を省略したが、次回以降の参考としたい。

・入間市の事業報告会の報告資料は分かりやすい。また評価に際しての「協働事業評価メモ」も抽象的で記入するのが難しかった。もう少し細かく評価できるようにされているとよい。

**【事務局】** 庁内での検討の結果、評価者の負担等を考え、現在の方式としたが、検討課題とする。

(4) 平成28年度審議会等の開催状況及びパブリックコメントの実施状況調査について

**【事務局】** 資料4「平成28年度審議会等の開催状況等に関する調査結果」及び資料5「平成28年度パブリックコメント実施状況調査結果」に基づき報告。

・審議会等の開催状況等に関する調査結果

開催状況、公開している会議の公表状況、会議日程の公表方法と公表日、傍聴者のあった審議会等、まとめについて報告。

・パブリックコメント実施状況調査結果

各パブリックコメントの状況、課題・意見等、まとめについて報告。

《質疑・応答なし》

(5) 平成 29 年度公募委員募集・パブリックコメント実施予定について

【事務局】資料 6「平成 29 年度審議会等委員公募予定」及び資料 7「平成 29 年度パブリックコメント募集予定」に基づき報告。

- ・公募委員募集予定：14 件、26 人公募予定
- ・パブリックコメント実施予定：6 件予定

《質疑・応答なし》

4. 閉 会（古寺課長）